仕　様

型　番	TKB-210	定格電圧	AC100V　50/60Hz共用
名　称	家庭用生ごみ・ペットのフン処理ロボット	定格電力	最大175W
適　用	一般家庭用・屋外設置型	定格電流	最大1.7A
使用温度範囲	−5℃〜40℃ 寒冷地対策機能（−5℃まで）	寸　法	高さ650mm 幅320mm 奥行き 520mm
		本体重量	18kg
処理能力	標準処理能力700g／日　最大処理能力1kg／日(週1回)	コードの長さ	2.5m
処理方法	バイオ分解方式		
留守対応機能	73時間フタの開閉がない場合、運転停止 （留守対応運転切替）	センサー搭載	水分センサー・温度センサー かくはんセンサー

安全対応機能	●フタを開けると、かくはん動作・ヒーターが停止 ●異物混入やバイオ剤のベタつきにより、通常かくはん時以上のモーター負荷がかかった場合、かくはん動作・ヒーター停止
運転モード	フタ開閉後、バイオ剤の水分状態により自動運転

保証とアフターサービス（必ずお読みください。）

保証書

・保証書は所定の事項及び記載内容をご確認いただき大切に保管してください。
・保証期間はお買い上げ日より1年間です。但し、バイオ剤・集じんフィルターは消耗品ですので、保証期間内でも有料とさせていただきます。

補修用性能部品の保有期間

当社はこの生ごみ・ペットのフン処理ロボットの機能維持に必要な補修用性能部品を製造打ち切り後、5年間保有しています。

修理を依頼されるときは…

修理を依頼される前に、この取扱説明書の17・18ページに従って調べていただき、なお異常があるときは、ご使用を中止し必ず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へ修理をご依頼ください。

保証期間中は…

修理に関しては保証書をご提示ください。保証書の内容に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは…

お買い上げの販売店にご相談ください。

アフターサービスに関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店へお問い合わせください。
または、下記ご連絡先へお問い合わせください。

サムサポートセンター　サムサムフォーミー
フリーダイヤル **0120-363643**
営業時間：10:00〜18:00（土・日・祝休）

製造元 株式会社 東北環境 埼玉県さいたま市緑区寺山838-1
TEL: 048-812-3215 営業時間：10:00〜17:00（土・日・祝休）
http://tohokukankyo.co.jp

株式会社東北環境

一般家庭用・屋外設置型
生ごみ・ペットのフン処理ロボット

New サム

品番：TKB-210

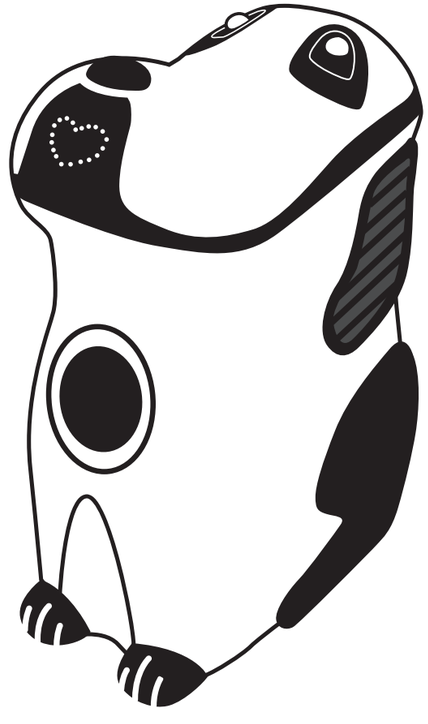
取扱説明書

この度は、生ごみ・ペットのフン処理ロボット「ニューサム」をお買い上げいただきありがとうございます。取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。

「ニューサム」は、生ごみ・ペットのフンをバイオ（微生物）の働きで分解します。

バイオは生き物です

生ごみ・ペットのフンはバイオの食事です。バイオに食事を与えているとお考えいただき、投入規定量をお守りください。「ニューサム」で地球環境にやさしい生活しませんか?



もくじ

●上手な使い方 1〜2
●安全上のご注意 3〜4
●各部の名前と機能・設置の仕方 5
●ご使用前の準備 6
●表示ランプの説明 7〜8
●日常の使い方 9
●投入できるもの、投入できないもの 10
●1日に投入できる生ごみ・ペットのフンの量 11
●生ごみ・ペットのフンの上手な投入の仕方 12
●バイオ剤について 13
●バイオ剤の入れ替えが必要なとき 14
●取り出したバイオ剤は園芸用の土壌改良剤として利用できます。 15
●お手入れのしかた 16
●故障かな? と思ったとき 17〜18
●保証とアフターサービス 19

重要 必ずお読みください

生ごみ・ペットのフン処理ロボット「ニューサム」の

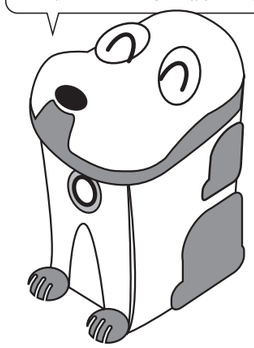
上手な使い方

生ごみ・ペットのフンを食べてくれる
バイオは生きものです。
ペットを育てていくように食べさせて
可愛がってください。

※水タンクの「水」は欠かさず入れてください。
排気フィルターと集じんフィルターはホコリが詰まらないようにお掃除してください。

設置方法

12時間は生ごみ・ペットのフンを入れないで!
1日目から7日目くらいまでは生ごみ・ペットのフンを少なめにしてね。
バイオ剤が生ごみ・ペットのフンに慣れはじめる大事な期間なんだ。



①本体底部をブロック・レンガ等の上に置くと汚れにくいです。
②まず、本体槽内の付属品を取り出します。
③槽内のフィルター（2カ所）・向かって右側の耳の内側（耳をはずす）に集じんフィルターがついているかを確認してください。
④水タンクが満タンになるように、水を入れてください。
⑤別箱の初期用バイオ剤を槽内に全部入れてください。
⑥電源コードをコンセントに差し込み、鼻のハートマークが緑色に点灯しているか確認してください。

●生ごみ・ペットのフンは、12時間後より投入してください。

投入の仕方

大きいもの、硬いもの、長いものは2～3cmくらいに切って投入してください。
冷凍食品…必ず解凍して投入してください。
腐敗食品…1回200g以内1日2回までの合計400gまでの投入にしてください。
魚のアラ…小さく砕いて投入してください。（熱湯をかけると早く分解します）
出し昆布…小さく砕いて投入してください。
里芋・山芋・パイナップルの皮…少し火を通すか、熱湯をかけ、冷ましてから投入してください。
スイカ・野菜類…毎日多く投入するとベタつきや粒状になるので規定量700g以内の投入をお守りください。（臭いの原因になることもあります）
魚・イカの内臓…たくさんの内臓は火を通して投入してください。（生のままいれると臭いの原因になります。）
エビ・カニの甲羅…小さく砕いて1回に200～300gずつ数回に分けて投入してください。
※**注意**…たくさんの水、味噌汁、ラーメン汁など水分だけは絶対に投入しないでください。
生ごみ・ペットのフンは溜めずに出る都度、投入してください。

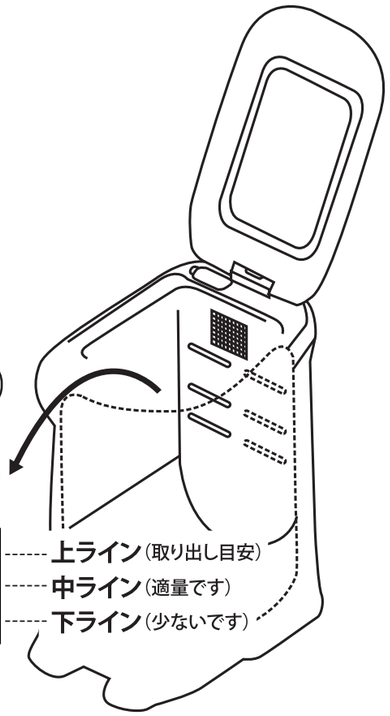
バイオの状態を見る

①**乾燥気味**のときはフィルター部分が汚れます。
生ごみ・ペットのフンの投入量が少ないです。また水タンクの水がなくなっていませんか？フィルターと集じんフィルターが汚れています。取り替えてください。取り替えたフィルター及び集じんフィルターは洗って乾かし、なくさないよう保管してください。
※フィルター及び集じんフィルターは、はずれないようきちんと付けてください。
②**ベタつき気味**のときは音声で教えてくれます。
「今は入れないでください」と音声と左目（向かって右）の黄色フチが点滅して教えてくれます。音声及び左目（向かって右）の黄色フチの点滅が消えるまで入れないでください。水分の多い生ごみ・ペットのフンの入れすぎです。
※通常の投入規定量700g以上は入れないでください。

お手入れ方法

1ヶ月目

Ⓐ かくはん棒に付いたごみを取ります。
Ⓑ 大きなごみは取り出し小さく切り、また、投入します。
Ⓒ バイオ剤の状態を確認しましょう。
・少ない ＿＿ 交換用バイオ剤を1袋4ℓ投入。
・多い ＿＿ 中のラインまで取り出す。
・乾燥気味 ＿ 水タンクの水を確認してください。
Ⓓ 槽内の拭き掃除をしましょう。
Ⓔ フィルターと集じんフィルターのお掃除！



バイオ剤を取り出す!!

バイオ剤の量が上のラインまで増えている場合

●バイオ剤量目安ライン・中のラインまでバイオ剤を取り出してください。
●取り出したバイオ剤は1ヶ月くらいすると肥料またはふるいにかけ、良い部分はバイオ剤として使用できます。

バイオ剤量目安
処理槽内正面にバイオ剤量の目安ラインがあります。

4ヶ月目 ！ 必ず行ってください

4ヶ月目に槽内のバイオ剤を点検し、必要に応じて下のラインまで取り出して交換用バイオ剤1袋（4ℓ）を投入すると、生ごみ・ペットのフンをより良く分解します。
※上欄の1ヶ月メンテナンス Ⓐ～Ⓔ を行う。

安全に関するご注意

※必ずお守りください

●ご使用前にこの「安全に関するご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

●ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、使用者や他の人々への危害・損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は危害や損害の大きさ・危険度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じる事が想定される内容を「警告」「注意」にて表示しています。いずれも安全に関する重要な内容です。必ずお守りください。

表示の意味	警告	この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がケガをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

絵表示の意味	❗	❗は、警告・注意を促す表示です。❗の中や近くに、具体的な警告内容が書かれています。
	⃠	⃠の斜線は、してはいけない事項（禁止事項）を示す表示です。 ⃠の中や近くに、具体的な禁止事項が書かれています。
	例	●は、しなければならない行為を示す表示です。 ●の中や近くに、具体的な指示内容が書かれています。

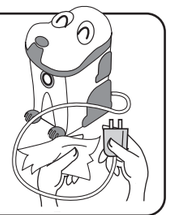
警告

プラグを抜く

お手入れや点検の際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、ぬれた手で抜き差しはしないでください。感電やケガをすることがあります。

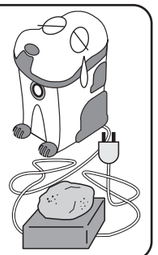
強制

電源プラグは、刃及び刃の取り付け面にホコリが付着している場合はよくふいてください。火災の原因になります。



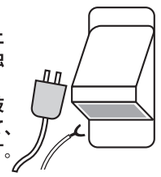
禁止

コードを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重い物を乗せたり、挟み込んだりしないでください。機械やコードが破損し、火災・感電の原因となります。



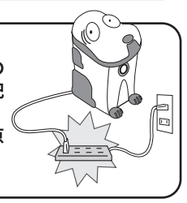
強制

電源は交流100V15A以上の防雨型コンセントを単独で使用してください。
他の機具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して、火災・感電の原因となります。



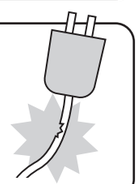
禁止

延長コードの使用、他の電気機具とのタコ足配線をしないでください。ショート・発火・感電の原因となります。



禁止

傷んだ電源プラグやコード、ゆるんだコンセントは使用しないでください。感電・ショート・発火の原因となります。

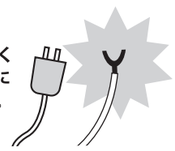


確実に差し込む

電源プラグはコードを持たずに必ず先端を持って、根元まで確実に差し込んでください。感電や発熱による火災の原因となります。

アース線接続

アースを確実に取り付けてください。故障や漏電のときに感電するおそれがあります。



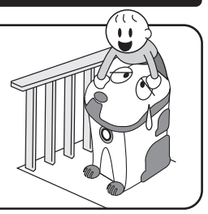
警告

水場での使用禁止

直接雨ざらしになる場所や雨水がたまり、水浸しになるような場所には設置しないでください。感電や漏電火災の原因になります。

禁止

ベランダの手すり側に置いたり、踏み台にしないでください。お子様がベランダから落下する原因となります。



禁止

絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。火災・感電・ケガの原因になります。修理が必要な際は、お買い上げの販売店までご連絡ください。

禁止

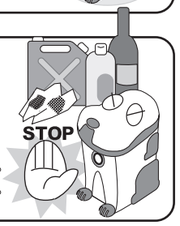
本体各部に直接水をかけないでください。また、処理槽の内部は絶対に水洗いしないでください。感電や漏電火災の原因になります。

禁止

幼児にさわらせたり、処理槽の中をのぞかせないでください。また、生ごみ・ペットのフン処理ロボット「ニューサム」のそばに台を置くなどしないでください。ケガをすることがあります。

禁止

処理槽には、灯油・ガソリン・ベンジン・シンナー・アルコールなどやそれらが付着したごみを絶対に入れたり近づけたりしないでください。爆発や火災の原因になります。



禁止

生ごみ・ペットのフン処理ロボット「ニューサム」の上にのぼったり、重い物を乗せたりしないでください。変形・破損・転倒によりケガをすることがあります。

禁止

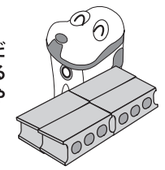
吸気口・排気口はふさがないでください。風通しが悪くなり、発熱・発火の原因になります。

強制

屋外の水平で安定した場所に設置してください。

強制

ブロックの上に設置してください。直置きすると冠水による感電や、吸気ができず故障や過熱の原因となります。



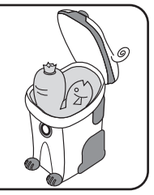
注意

火気禁止

火気の近くに設置しないでください。また可燃性のモノや火のついたタバコなどを投入しないでください。本体の変形によるショート・発火の原因になります。

禁止

大きくて硬い食べ残しを投入する際は、小さく（2～3cm位）切ってから投入してください。かくはん運転時、モーターに負担がかかり、故障の原因となります。



強制

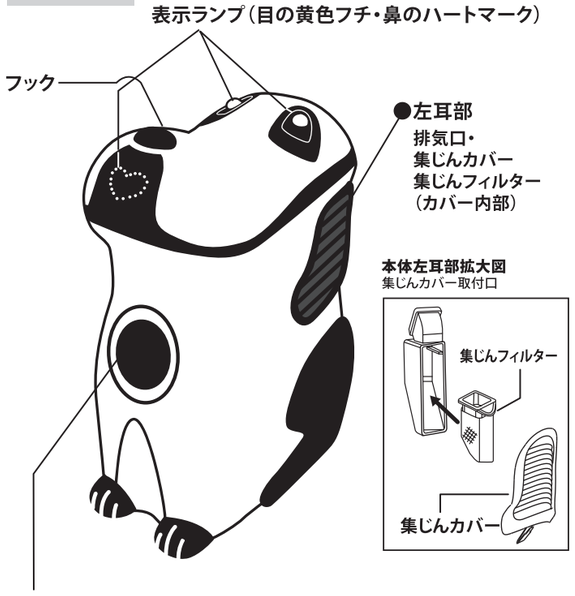
バイオ剤を触ったときは必ず手をあらってください。フンや食べ残しを投入した後のバイオ剤は土や堆肥と同じです。衛生上好ましくありません。

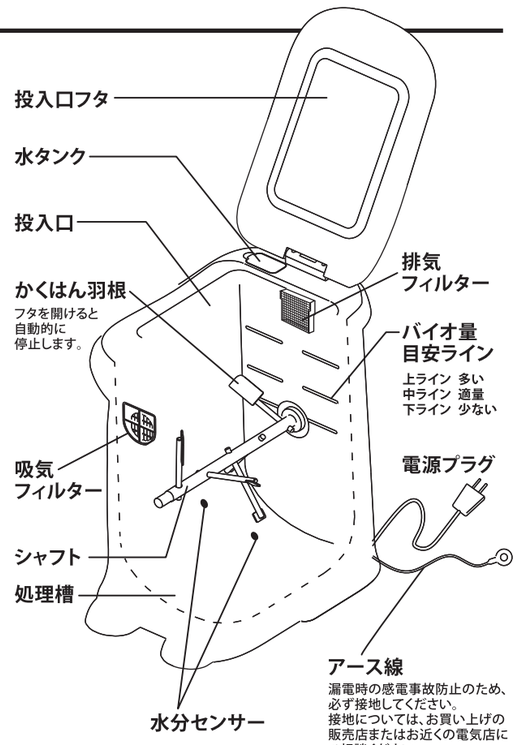
禁止

バイオ剤を、目や口に入れたりしないでください。

各部の名前と機能

本体

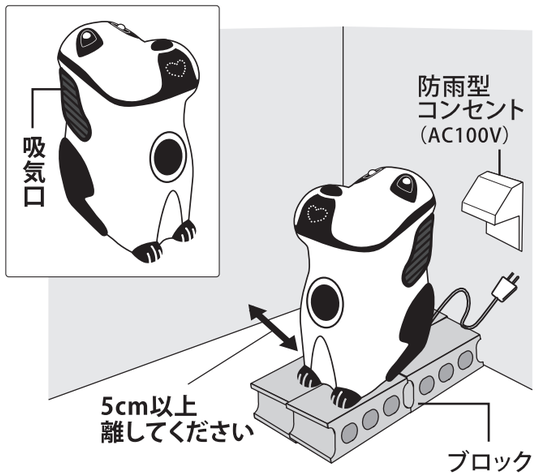




設置のしかた

設置場所について

●本体は屋外設置型です。
●風通しのよい場所に設置してください。
本体はファンにて吸気・排気を行っております。物置きなど閉ざされた場所への設置は排気・ニオイがこもりやすいので、風通しのよい場所に設置してください。
●屋根がついた軒下、ひさしの下など直接雨ざらしになりにくく、直射日光のあたりにくい場所に設置してください。
商品の故障、耐久性が低下する原因につながる場合があります。
●落下、転倒防止のためベランダに設置する場合、壁側に設置してください。

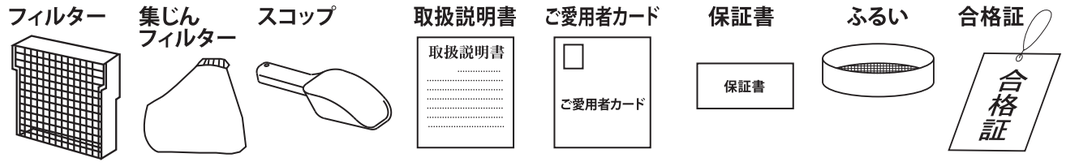


設置方法について

●本体に向かって左側の耳には吸気口がありますので、吸気口をふさがないように壁側より5cm以上離してください。
●直置きしないで、市販のブロックを敷いてください。ダンボールや発泡スチロールなど水や熱で変形、変色しやすいもののうえに設置しないでください。本体はがたつかず、平行になるように設置してください。
●非常避難口の障害にならない場所に設置してください。

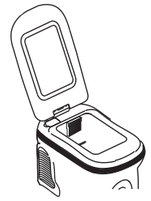
ご使用前の準備

1.処理槽内に入っている付属品を取り出す



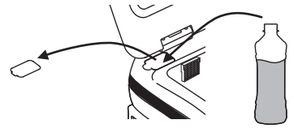
2.フタを開ける

●「フック」を押す。（フタが全開します。）
●手を添えながら、フタを最後まで開ける。



3.タンクに水を入れる

●タンクのフタを開けて、ご家庭にあるペットボトルでタンクに水を入れる。（900ml）
●異物を取るために、必ずフィルターを通してください。



4.初期用バイオ剤を入れる

●初期用バイオ剤を全部入れます。

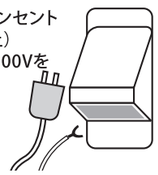
5.フタを閉める

●フタを閉めます。

6.電源プラグを差し込む

●電源プラグを防雨用コンセントに差し込みます。
●通電すると鼻のハートマーク（緑）が点灯します。

交流100V防雨型コンセント
（交流100V15A以上）
アース端子付きAC100Vを
ご使用ください。



準備が終わりました。12時間後に生ごみ・ペットのフンを投入できます。

投入物の分解を促進するため、電源プラグは防雨用コンセントに差し込んだままで常に運転しておいてください。生ごみ・ペットのフンの分解途中で電源プラグを抜いてしまうと、分解不良・ニオイ・結露などの原因になります。（バイオ剤点検お知らせ機能もリセットします。）旅行などでご使用にならない場合も、電源を入れたままで結構です。留守対応機能が働き、自動的に省エネの留守対応運転にかわります。

表示ランプの説明

電源／運転ランプ

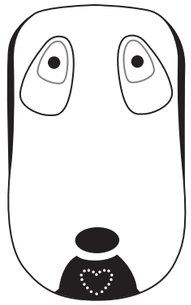
電源プラグをコンセントに差し込むと、通電状態となり、鼻のハートマークが緑点灯・赤点灯・赤点滅で運転状態をお知らせします。

水補給ランプ

水タンクのセンサーが水不足を感知した時、右目（向かって左）の黄色フチが点滅します。

ベタつきランプ

投入物の入れすぎにより、バイオ剤がベタついている状態の時、左目（向かって右）の黄色フチが点滅します。
（生ごみ・ペットのフン投入中止）



鼻緑色点灯：電源入れ、通常運転
鼻赤色点灯：フタが開いている
鼻赤色点滅：モーター負荷

左目（向かって右）の黄色フチ点滅：ベタついている
右目（向かって左）の黄色フチ点滅：タンクに水が足りない。
または、水が凍っている。

付属　ニューサム専用初期用バイオ剤環境の友®シリーズ バイオレット

初期用バイオ剤（ニューサム専用）10リットル
生ごみ・ペットのフンを分解処理してくれる微生物です。

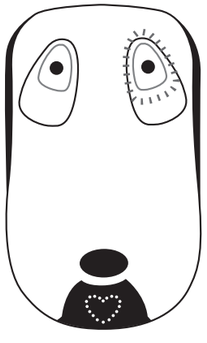
初期用バイオ剤
10L

点灯・点滅した場合、各部分の点検を行ってください。

運転中にバイオ剤の状態、本体の運転状態に変化があれば、表示ランプが点灯・点滅してお知らせします。
バイオ剤がより最適な状態で生ごみ・ペットのフンを分解するために、本体に水分センサーが搭載されております。

ベタつきランプが点滅していないときは、バイオが快適な状況で活動しています。
バイオ剤がベタついた場合、センサーで感知してお知らせします。
バイオ剤が乾燥した場合、自動的に水タンクから水を補給します。

左目（向かって右）の黄色フチが点滅した場合



バイオ剤がベタついている

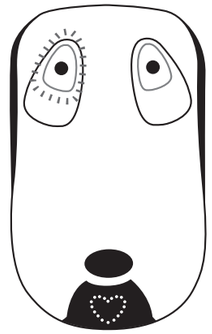
生ごみ・ペットのフンを入れすぎです。水分の多い生ごみ・ペットのフンを投入した場合、左目（向かって右）の黄色フチが点滅します。フタを開けた時に音声がでます。

「バイオ剤がベトついています、今は入れないでください。」

↓

左目（向かって右）の黄色フチの点滅が消えるまで投入を中止してください。
点滅が消える期間は、バイオ剤のベタつき状況により異なります。

右目（向かって左）の黄色フチが点滅した場合



●水タンクのセンサーが水不足を感知した場合、右目（向かって左）の黄色フチが点滅します。フタを開けた時に音声がでます。**「タンクに水を補給してください。」**

↓

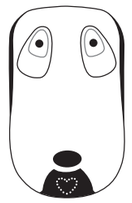
ご家庭にあるペットボトルで水（900ml）を水タンクに補給してください。

●タンクの水が凍っている場合、右目（向かって左）の黄色フチが点滅します。

↓

タンクの水が溶けるまでお待ちください。

鼻のハートマークが赤色点灯した場合

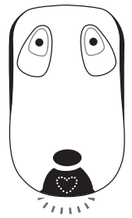


フタが開いているときは安全のため、かくはん運転・ポンプ運転・ヒーターは停止します。且つ、**電子音でポーン・ポーン・ポーンとなり続けてお知らせします。**

↓

フタを閉めてください。

鼻のハートマークが赤色点滅した場合　モーター負荷



通常かくはん時以上の負荷がモーターにかかっています。

原因

・かくはん棒に異物が引っかかっています。
・バイオ剤がベタつき、団子状になっています。

※電源プラグを抜いてから、次の処置を行ってください。

対処法

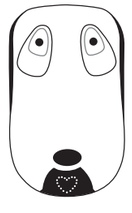
①処理槽内にあるかくはんを妨げる異物を取り除いて、電源プラグを差し込んでください。

②バイオ剤の水分が多く、団子状に固まっている場合は、団子状のものを取り除き、電源プラグを差し込んでください。

③バイオ剤がベタつき、かくはんしきれない場合、バイオ剤の全量交換を行った後、電源プラグを差し込んでください。

①～③の対処をしても、鼻のハートマークの赤色点滅が解消されない場合、お買い上げの販売店にご連絡ください。

120日経過した場合

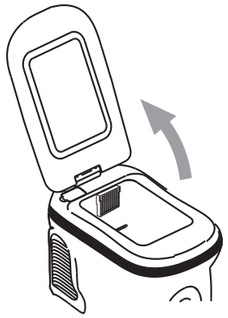


●120日を経た場合、フタを開けた時に音声が出ます。
「バイオ剤を点検してください。」

↓

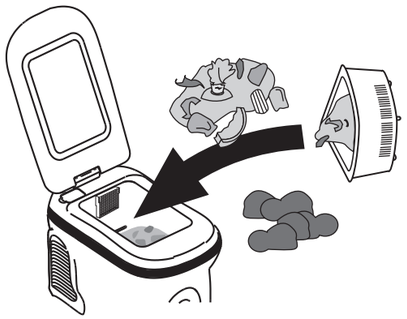
①動物の毛や繊維質の強い未分解のものがあれば取り除き、必要に応じて交換用バイオ剤を4ℓ入れ替えてください。
②電源プラグをコンセントから抜くとリセットされ、音声が消えます。

日常の使い方



1.フタを開ける

●「フック」を押す。



2.生ごみ・ペットのフンを入れる

●処理槽内に生ごみ・ペットのフンを入れてください。
ビニールは入れないでください。

3.フタを閉める

●フタを閉めると鼻のハートマークが緑点灯し、
自動かくはん運転します。

使い始めに必ず守っていただきたいこと

使い始め～約1週間は以下のことを必ず守ってください。

①投入準備後1日目（約12時間）は、何も入れない。バイオ剤が活動を始める準備期間です。
投入は2日目からです。
②使いはじめから、約1週間は投入量少なめ。
バイオ剤が投入物の分解に徐々に慣れる大事な期間です。この期間は入れすぎないようにご注意ください。
少なめの目安は300gです。

使い始めから約1週間経過後は、通常投入量（700g）が投入できます。
守らないとバイオ剤が活発に活動しにくくなるために、十分な分解力が発揮できなくなります。必ず守ってください。

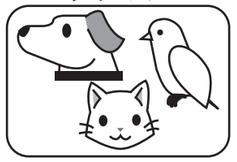
留守対応機能について

●73時間以上のフタの開閉がない場合、かくはん動作・ヒーターが運転停止となり、省エネの留守対応にかわります。
●フタを開閉することにより、通常の運転に戻ります。

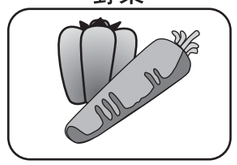
投入できるもの

※生ごみ・ペットのフンを投入する前に「投入できるもの・投入できないもの」を分別してください。
※オシッコや水分を切ってから、投入してください。
※「サム専用ティシュー」以外のティッシュを投入した場合は、あとで取り出してください。

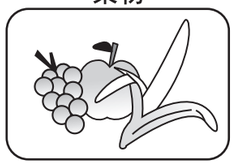
ペットのフン



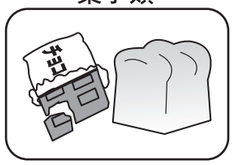
野菜



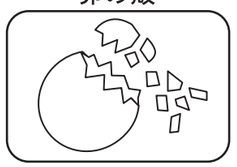
果物



菓子類

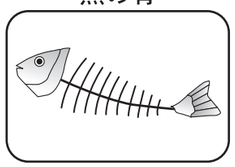


卵の殻

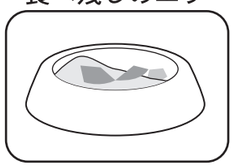


穀物・茶かす

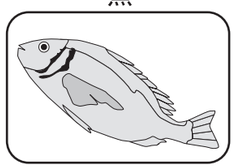
魚の骨



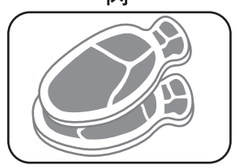
食べ残しのエサ



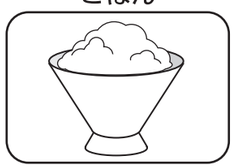
魚



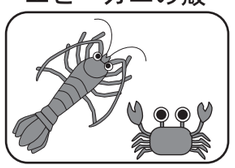
肉



ごはん



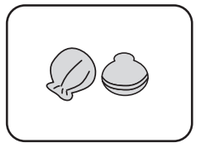
エビ・カニの殻



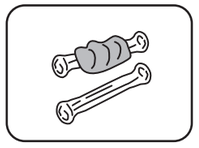
投入できないもの

※機械故障の原因や、バイオ剤にダメージを与え、
分解不良・固まり・臭いの原因になりますので、絶対に投入しないでください。

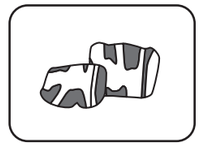
貝殻類



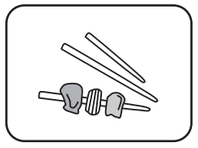
牛や豚の大きな骨



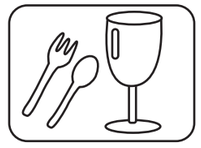
多量の食用の脂身



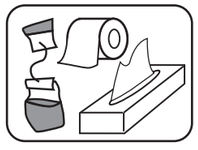
竹串類



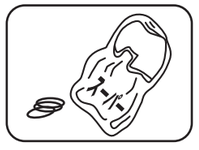
金属類・ビンの栓・
ガラス類



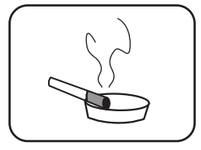
ティーパック・紙類



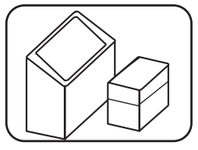
ゴム・ビニール類



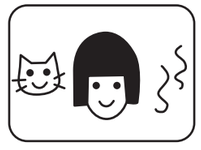
タバコ



プラスチック類

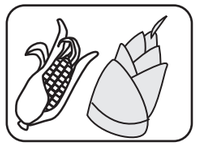


髪の毛・大量の動物の毛



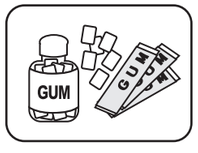
石けん・洗剤・漂白剤・芳香剤・
化粧品などの化学薬品類

トウモロコシ・
たけのこの硬い皮



香辛料・多量の塩分
糖分を含んだもの

ガム



落葉・生け花

大量の水あめ・
ハチミツ・ジャム
布・毛布などの
繊維類

液体類
（アルコール・大量の油・牛乳・
味噌汁の汁・カレーやシチュー
の液体ルー）

凍ったままの生ごみ
（解凍すれば投入可）

大きな種
（マンゴーなど）

全体にカビが生え
てしまった食品

その他、人間が食べられないもの全般

1日に投入できる生ごみ・ペットのフンの量

1日（24時間）に投入できる生ごみ・ペットのフンの投入量は、通常700g以内です。

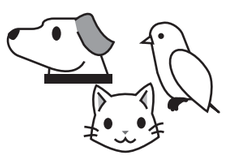
※1週間に1回程度、最大1kgまで投入することができます。

ペットのフンを投入する場合は、
生ごみ＋ペットのフン＝700g以内です。投入量にご注意ください。

【例：犬の場合】 1日に犬が排出するフンの量 （1頭の平均値）	大型犬	約520g
	中型犬	約230g
	小型犬	約110g

生ごみをペットのフンと一緒に投入する場合、ペットのフンの量も含んだ投入量を計算の上、1日の投入量をお守りください。

【通常投入の場合】



ペットのフン
230g

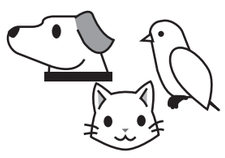
＋

生ごみ
470g

＝ **合計700g以内**

※1日の投入量が700gであれば、数回に分けて投入しても問題ありません。

【1週間に1回程度（最大1kgまで可能）】



ペットのフン
230g

＋

生ごみ
770g

＝ **合計最大1kg以内**

生ごみ・ペットのフンの上手な投入のしかた

分別して投入する

●投入できるもの、投入できないものがありますので、必ず分別してから投入してください。
●「サム専用ティシュー」以外のティッシュ、ポリ袋や水切り袋に生ごみ・ペットのフンを入れたまま、投入しないでください。
※万一、投入してしまった場合は、あとで取り出してください。かくはん棒にからまり、故障の原因になります。

水切りを行う

●生ごみを投入するときは、ご家庭にある水切りかご（三角コーナー）を利用して、しずくが落ちないくらいに水分を切ってください。

腐ったものを1度に多く入れない

●腐って食べられないものを投入するときは、1度に多く投入しないでください。また、全体にカビが生えたものは、バイオ剤の分解バランスを崩しやすいので、投入しないでください。

生ごみ・ペットのフンを一度にたくさん入れすぎない

●使い始め～1週間の投入量

1日目
使い始めの12時間は、何も入れずに作動させてください。

1日目～7日目（約1週間）
使い始めから1週間くらいは、投入量を少なめにしてください。

●1週間を過ぎてからの1日の投入量
1日に投入できる量…700g以内です。（週1回程度　最大1kg程度）
規定量以上の生ごみ・ペットのフンを投入すると、バイオ剤がベタつき、分解不良の原因になり、また、ニオイの発生になります。

ニオイの強い生ごみは、1度に多く入れない

●ニオイの強い生ごみは、1度に多く入れないで1日数回に分けて投入してください。ニオイの強いものを大量に入れた場合、一時的に強い分解臭を放つことがあります。また、ニオイの強いものは熱を通して投入すると、分解が早まりニオイが出にくくなります。（投入前に熱湯をかけると効果的です）

液体類のみの投入はしない

●ペットのオシッコ、牛乳、油など液体の投入はしないでください。

毎日少しの量でも生ごみ・ペットのフンを入れるようにする

●生ごみ・ペットのフン＝バイオ剤の食事です。
生ごみ・ペットのフンを与えないと、バイオ剤が活動するエネルギー不足で分解力が弱まり、乾燥気味になります。
バイオ剤の分解バランスを保つためにも、毎日少しでも生ごみ・ペットのフンを入れるようにしてください。

バイオ剤について

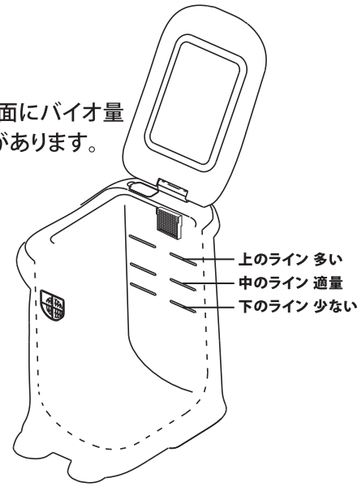
生ごみ・ペットのフンの投入量やフンの種類によって、バイオ剤の量や状態が変わります。いつも最適な状態でお使いいただくために、時々バイオ剤の量や状態を確認してください。

バイオ剤の量

バイオ剤が増えている

原因 以下のような投入が続いた場合、バイオ剤が増えることがあります。

- ●生ごみ・ペットのフンの投入量が規定量より多い。
- ●繊維質の強いもの、動物の毛が多い。
- ●分解に時間のかかるネギなど、生の野菜類、種、鳥の骨



バイオ剤の量が上のラインまで増えている場合

●バイオ剤量目安、中のラインまでバイオ剤を取り出してください。

バイオ剤が減っている

原因

- ●生ごみ・ペットのフンの投入量が少ないとバイオ剤が減ることがあります。
- ●生ごみ・ペットのフンを投入しない日が続いた。

バイオ剤の量が下のライン以下に極端に減っている場合

●交換用バイオ剤1袋4ℓを投入してください。

バイオ剤の良好な状態は… ●しっとりしていてほぐれやすい ●ニオイは土のかおりがします

投入量や投入時のご注意を守っていただけないとき、バイオ剤が次のような状態になってしまうことがあります。

バイオ剤からイヤなニオイがする

原因

- ●生ごみ・ペットのフンの投入量が規定量より多い。
- ●ニオイの強い生ごみを一度にたくさん投入した。
- ●バイオ剤が乾燥気味のところに、いつもより多めの生ごみ・ペットのフンを投入した。

対処法

①吸気・排気フィルターの掃除をしてください。
②バイオ剤の活動を早く回復させるために、処理槽内のバイオ剤を下のラインまで取り出してください。(このとき処理槽内の壁にバイオ剤が固まっている場合、スコップで削ぎ落としてください。)
③交換用バイオ剤1袋4ℓを投入してください。交換用バイオ剤1袋4ℓ投入後、ニオイが治まるまで、生ごみ・ペットのフンは投入しないでください。

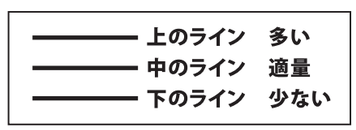
バイオ剤が団子状になっている

原因

- ●生ごみ・ペットのフンの投入量が規定量より多い。
- ●生ごみ・ペットのフンの投入時、水切りが不十分。
- ●液体状の生ごみを投入した。
- ●繊維質の強い生ごみを投入した。

対処法

①団子状になった目立つバイオ剤を取りのぞいてください。
②集じんカバー、集じんフィルター、吸気・排気フィルターのお掃除をしてください。
③バイオ剤が上のラインを超えていたら処理槽内のバイオ剤を下のラインまで取り出してください。(このとき処理槽内の壁にバイオ剤が固まっている場合、スコップで削ぎ落としてください。)
④交換用バイオ剤1袋4ℓを投入してください。



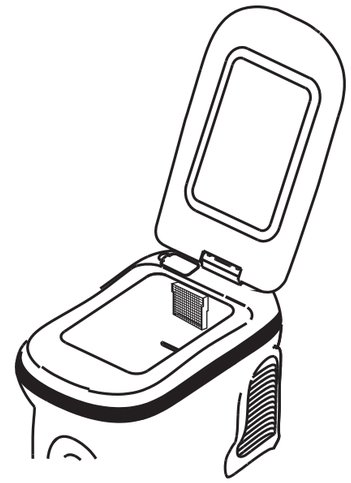
バイオ剤の入れ替えが必要なとき

■使用開始、または電源プラグを抜いた時から120日経過すると、バイオ剤の点検を音声でお知らせします。動物の毛や繊維質の強い未分解のものがないか点検してください。付属品のスコップ・ふるいなどを使うと便利です。必要に応じて交換用バイオ剤4ℓを入れ替えてください。
電源プラグを一度コンセントから抜くとリセットされ、音声は消えます。

バイオ剤の入れ替え方法

〈ご用意いただくもの〉

①交換用バイオ剤1袋4ℓ
バイオ剤のお求めについては、お買上げの販売店までお問い合わせください。
【注意】必ず弊社商品の「交換用バイオ剤」をお使いください。
②付属品のスコップ・ふるい
③ビニール袋(ご家庭にあるものをご用意ください。)
④手袋(ご家庭にあるものをご用意ください。)
手の汚れとケガ防止のために必ずご使用ください。



入れ替え方法

①電源プラグをコンセントから抜きます。
※タイマーがリセットされ、音声が消えます。
②バイオ剤を処理槽内よりスコップで下のラインまで取り出し、ビニール袋に入れます。
③取り出したバイオ剤は、処分してください。
※バイオ剤の処分方法は、市町村で定められた方法(可燃ごみに出すなど)で処分してください。
④交換用バイオ剤を1袋4ℓ入れる。
⑤「ご使用前の準備」の5番目以降に従ってください。

■バイオ剤が次のようになった場合、バイオ剤を全量交換してください。

- ●お餅のようにベタついた状態
- ●投入できないものを、誤って投入してしまった場合
- ●留守などで、1ヶ月以上生ごみ・ペットのフンを投入していない状態

原因

- ●規定量以上の生ごみ・ペットのフンを投入してしまった。
- ●投入できないものを投入してしまった。
- ●バイオ剤のエサである生ごみ・ペットのフンを長期間投入していない為、分解力が低下している。

取り出したバイオ剤は園芸用の土壌改良剤として利用できます。

バイオ剤を園芸用肥料としてお使いいただくためには、家庭用生ごみ・ペットのフン処理ロボット「ニューサム」から出したばかりのバイオ剤は、完全な肥料にはなっておりませんので、熟成させてからご使用ください。

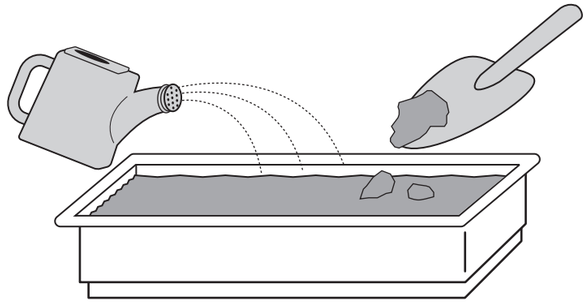
バイオ剤の熟成方法

プランター利用

バイオ剤と土を混ぜ合わせる割合

バイオ剤	：	土
1	：	10

バイオ剤と土を1:10の割合で混ぜ合わせ、散水した後、風通しのよい日陰に置いて熟成させてください。プランターの土が乾燥したときは、追加散水してください。



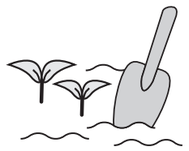
●暖かい時期（4～10月頃）	1ヶ月半くらい	1～2ヶ月後のプランターの土の状態
●寒い時期（11～3月頃）	2ヶ月～2ヶ月半くらい	●土の香りがしてイヤなニオイがしない ●色は黒褐色で、未分解物がない

熟成肥料は元肥（種まき時や植え替え時に土と混ぜて使う肥料）や追肥（植物の生育途中で与える肥料）として利用できます。

上記の要領で「熟成肥料」が出来ましたら、追肥または土壌改良剤としてご利用ください。

※飼っているペットによっては、取り出したバイオ剤に毛が多い場合があります。取り出したバイオ剤が不要な場合は、市町村で定められた方法（可燃ごみに出すなど）で処分してください。

熟成肥料が直接植物の根の触れない程度に間隔を置き、深さ10～15cm位を耕して追肥してください。



庭や畑の土の深さを20cm程度耕し、熟成肥料を散布し、土壌と混ぜ合わせてください。種まきや苗の植え付けを行う場合は、熟成肥料と土壌が馴染み、安定する期間（2～3週間）を待ってから行ってください。

注意 この熟成肥料は、投入された生ごみ・ペットのフンの種類やその他さまざまな要因により、成分性能が一定しません。肥料成分にデリケートな管理が必要な植物には使用しないでください。また、誤った方法で使用すると弊害が出ることがありますので、十分注意してください。なお、弊害に関する一切の責任は負いません。

お手入れのしかた

※まず始めに電源プラグを抜いてください。

警告
- ●電源プラグは、ぬれた手で抜き差ししないでください。
- ●本体及び処理槽内を水洗いしないでください。
  感電や故障の原因となります。

禁止 アルカリ性洗剤、酸性洗剤、磨き粉、粉石けん、ベンジン、シンナー、アルコール、ガソリン、石油、熱湯などを洗剤として使わないでください。また、タワシ、化学ぞうきんなどで汚れを落とすのはお止めください。変色や変形、キズの原因になります。

本体のお手入れのしかた
（外装・フタ・投入口のまわりなど）

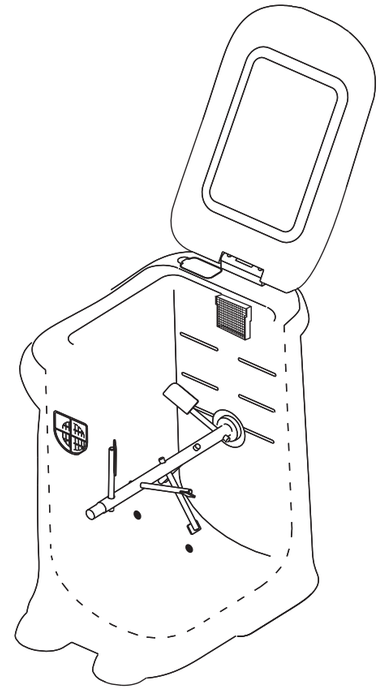
●柔らかい布にぬるま湯または薄めた中性洗剤を浸して絞り、本体に付着したごみや汚れをふき取ってください。投入口付近やフタパッキンは、水滴や虫が寄り付かないように、きれいに拭いてください。

処理槽内のお手入れのしかた

●処理槽内の壁や角にバイオ剤が付着している場合、付属のスコップを利用して削ぎ落としてください。

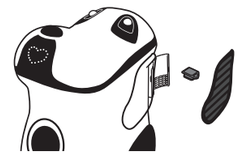
シャフト、かくはん棒、かくはん羽根のお手入れのしかた

●処理槽内のシャフトの回り、かくはん棒、かくはん羽根に野菜などの繊維質がからみ付いている場合、付属のスコップを利用して取り除いてください。軍手など手袋をして、かくはん棒やかくはん羽根に気をつけて取り除いてください。



本体左耳部集じんカバー内のお手入れのしかた（目安は4ヶ月に1回程度）

●本体左耳部に集じんフィルターを装着した排気口があります。耳を外して、集じんフィルターを取り出して、水洗いしてください。
●槽内にある吸気・排気フィルターを取り出して、掃除してください。
●集じんフィルターは4ヶ月に1回程度で交換してください。



水分センサーのお手入れのしかた

●水分センサー（処理槽内底部にネジのような金属突起部分）の周りにバイオ剤が付着している場合は、割り箸を利用して取り除いてください。軍手など手袋して、かくはん棒やかくはん羽根に気をつけて取り除いてください。
※この時、割り箸以外のものを利用して、水分センサーを傷つけないようにしてください。

故障かな？と思ったとき

注意

禁止	表にある通りの点検をしていただき、それでも改善しない場合は、使用を中止して、電源プラグを抜き、お買い上げの販売店または、サムサポートセンターにご相談ください。ご家庭での分解・修理は危険ですので絶対におやめください。

状態	チェックしてください	改善方法（参照ページ）
鼻のハートマークが緑色点灯しない	電源プラグがコンセントから抜けていませんか？	電源プラグをコンセントへ確実に差し込んでください。
鼻のハートマークが赤色点灯している	フタはきちんと閉まっていますか？	フタを閉めてください。
鼻のハートマークが赤色点滅していて、かくはんしていない	処理槽内のかくはん棒に大きな生ごみや異物が挟まって、かくはんできない状態ではないですか？	電源プラグを抜いてから処理槽内の大きな生ごみや異物を取り除いてください。
	バイオ剤がお餅のようにベタついていませんか？	生ごみ・ペットのフンの投入量が多い、生ごみの水切りが足りない場合、バイオ剤がベタつき、かくはんしきれていない状態です。電源プラグを抜いてから、バイオ剤を全量交換してください。
	バイオ剤が上のラインより増えていませんか？	バイオ剤を中のラインまで取り出してください。
左目（向かって右）の黄色フチが点滅している	生ごみ・ペットのフンの投入量が通常より多い、水切りが足りない場合、バイオ剤の水分が多くなった時、左目（向かって右）の黄色フチが点滅します。	点滅が消えるまで、生ごみ・ペットのフンの投入は中止してください。
右目（向かって左）の黄色フチが点滅している	水タンクの水不足を感知した場合、右目（向かって左）の黄色フチが点滅します。	ご家庭にあるペットボトルで水を補給してください。（900ml）
フタを開けるとフタの裏や処理槽内の壁が結露している	吸気ファンが動作しないと処理槽内が結露します。	本体左耳部を取り外し、集じんフィルター取付口に手をかざして空気が出ているか確認し、万一確認できない場合、販売店までご連絡ください。
	吸気・排気フィルターが目詰まりしていると処理槽内が結露します。	集じんフィルター、吸気・排気フィルターを掃除してください。
	乾燥気味のバイオ剤に多めの生ごみ・ペットのフンを投入したことにより粉塵が集じんフィルター、吸気・排気フィルターへ付着し、目詰まりを起こしていることがあります。	集じんフィルター、吸気・排気フィルターを掃除してください。
	電源は入っていますか？	電源プラグをコンセントへ差し込んでください。

故障かな？と思ったとき

バイオは、生き物です。誤った使い方をするとバイオにダメージを与えてしまい、ニオイの原因や分解不良を起こしてしまいますので、正しくご使用くださるよう、お願いいたします。

状態	チェックしてください	改善方法（参照ページ）
処理槽内のバイオ剤が上のラインより増えているとき	生ごみ・ペットのフンの量により異なりますが、通常投入量以上の生ごみ・ペットのフンを投入していましたか？	処理槽内のバイオ剤を下のラインまで取り出して、交換用のバイオ剤を1袋4ℓ投入してください。
	生ごみ・ペットのフンの量により異なりますが、繊維質の強いものの投入量が多かったですか？	
処理槽内のバイオ剤が減っているとき	毎日の生ごみ・ペットのフンの投入量が少なめですか？	処理槽内のバイオ剤が下のラインより極端に減っているとき、交換用バイオ剤を1袋4ℓ投入してください。
未分解の生ごみ・ペットのフンが多く目立つ	生ごみやペットのフンの量により異なりますが、繊維質の強いものの投入が続きましたか？	処理槽内のバイオを下のラインまで取り出して、交換用バイオ剤を1袋4ℓ投入してください。
強いニオイが発生している	・生ごみ・ペットのフンの投入量が多すぎませんか？ ・カビが生えたものを投入しましたか？ ・乾燥気味のバイオ剤へ、いつもより多めに生ごみ・ペットのフンを投入しましたか？	処理槽内のバイオを下のラインまで取り出して、交換用バイオ剤を1袋4ℓ投入してください。
	バイオ剤の量が増えていませんか？（上のラインより増えている）	処理槽内のバイオを下のラインまで取り出して、交換用バイオ剤を1袋4ℓ投入してください。
	タバコや薬品等の投入できないものを投入しましたか？	バイオ剤の全量交換をしてください。
	排気ファンは動作していますか？	本体左耳部を取り外し、集じんフィルター取付口に手をかざして空気が出ているか確認し、万一確認できない場合、販売店までご連絡ください。
	電源は入っていましたか？	電源プラグをコンセントへ差し込んでください。
	集じんカバー、集じんフィルターが目詰まりしていますか？	集じんフィルター・処理槽内の吸気・排気フィルターの掃除をしてください。

ご不明な点はサムサポートセンターをご利用ください。

サムサポートセンター　サムサムフォーミー

フリーダイヤル **0120-363643**

営業時間：10：00～18：00（土・日・祝休）